

成績評価における GPA 等の客観的な指標の設定について

1.GPA 制度

GPA 制度は、アメリカなどの大学で一般的に行われている世界標準的な成績評価方法で、日本でも多くの大学で導入されています。GPA とは、「GradePointAverage」の略で、授業科目の成績評価に対して点数（GradePoint）を与え、その点数に各科目の単位数を乗じた合計を、履修科目の総単位数で割って算出した平均値のことをいいます。

この GPA は、学修への取り組みを質的に把握するための指標となり、学期ごとに比較することで、学修した成果を判断する目安となります。本校では、学生の学修指導等の参考資料として活用しています。

2.成績評価と GPA

①試験等の評価

評価区分	GP	点数
S	4	100点～90点
A	3	89点～80点
B	2	79点～70点
C	1	69点～60点
D	0	60点未満

②実習の評価

評価区分	GP	点数
A	3	100点～80点
B	2	79点～70点
C	1	69点～60点
D	0	60点未満

3.GPA 算出方法

$$\text{GPA} = \frac{\text{〔履修科目のGP} \times \text{その科目の単位数〕の総和}}{\text{全履修科目の総単位数}}$$

GPA = (科目の単位数 × GP) の合計 / 履修科目の単位数の合計

※小数点第 2 位以下四捨五入

※分母の総単位数には不合格科目の単位数を含む

4.GPA の総合評価表

GPA	総合評価
3.5～3.7	大変優秀な成績です。
3.0～3.4	優秀な成績です。
1.6～2.9	平均的な成績です。
1.0～1.5	努力を要する成績です。
0～0.9	より一層努力を要する成績です。